

〔12月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。
(幼・小1の方は、学年を書かなくてもよい。)

小学2年参考手本

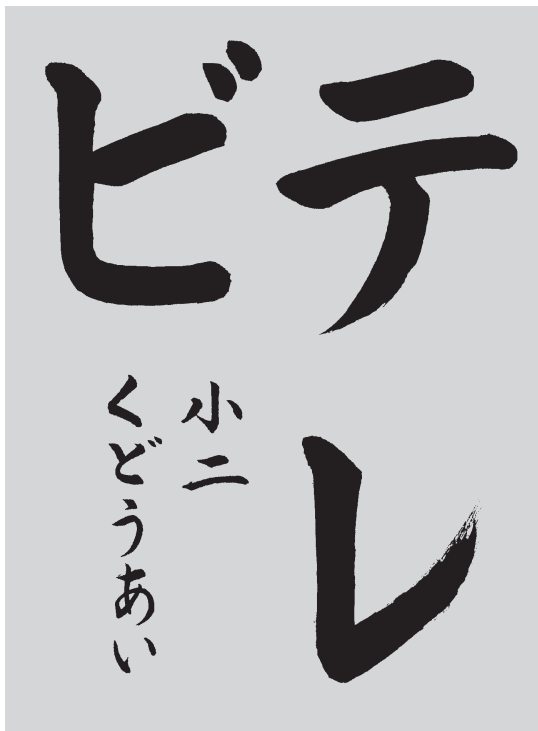


加瀬澄春先生

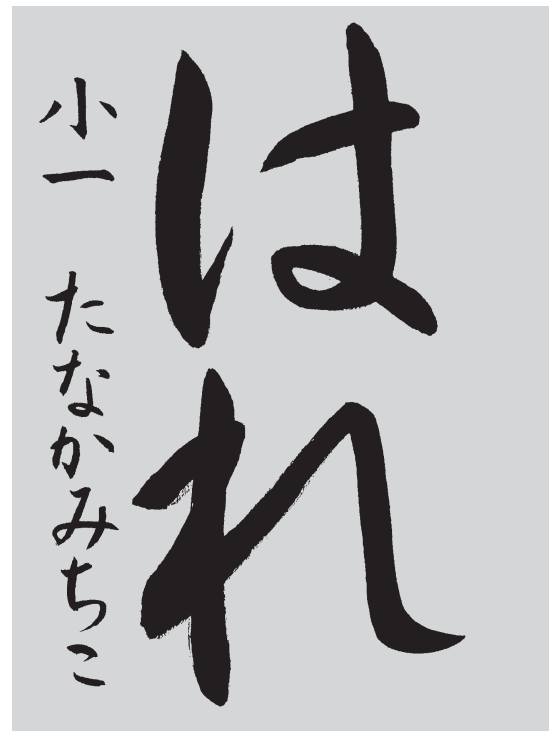
幼・小学1年参考手本



飯高和子先生



島田白露先生



下谷洋子先生

〔12月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学4年参考手本



村山元信先生

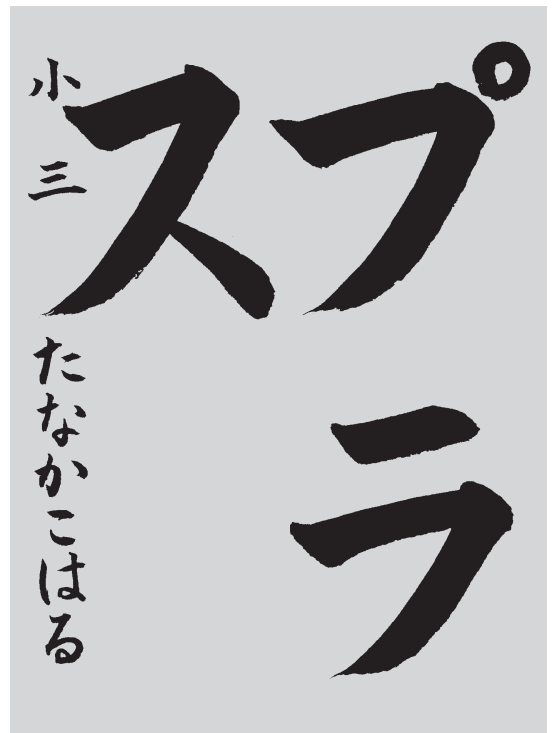
小学3年参考手本



広瀬舟雲先生



小浜大明先生



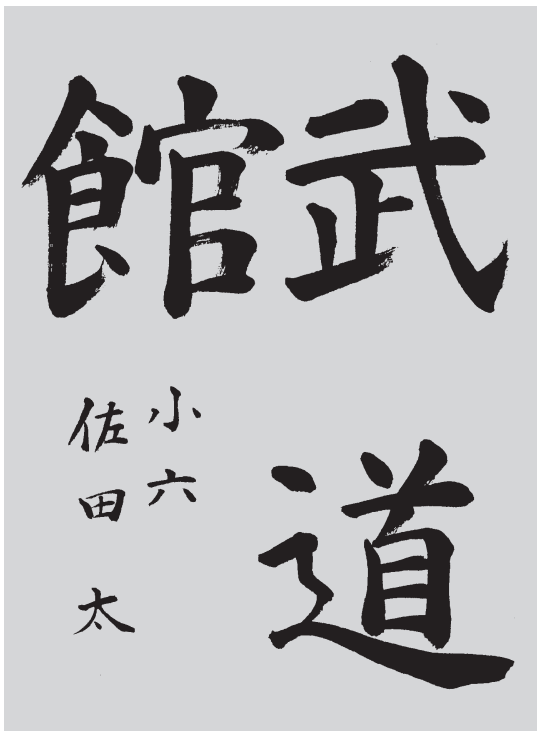
名越蒼竹先生

〔12月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学6年参考手本



弓削光峰先生



大野祥雲先生

小学5年参考手本



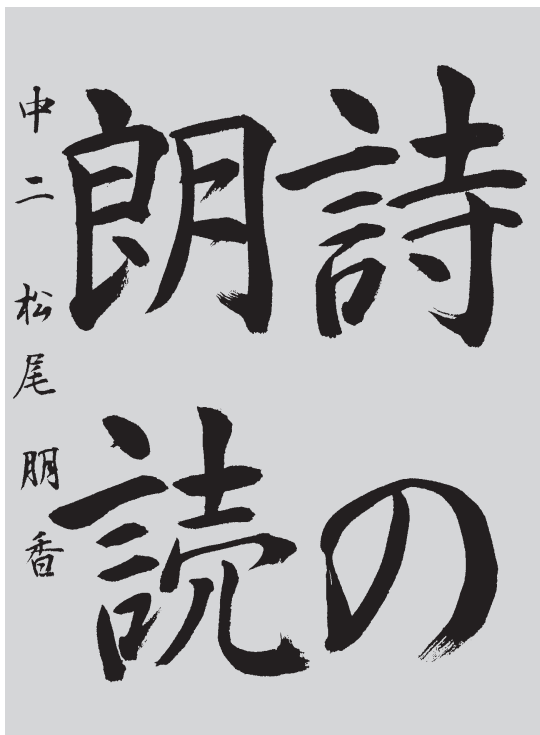
尾形澄神先生



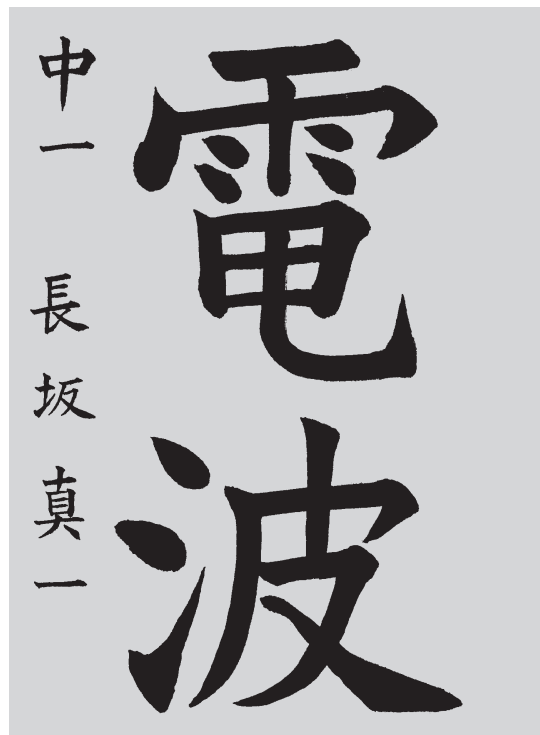
辻元大雲先生

〔12月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

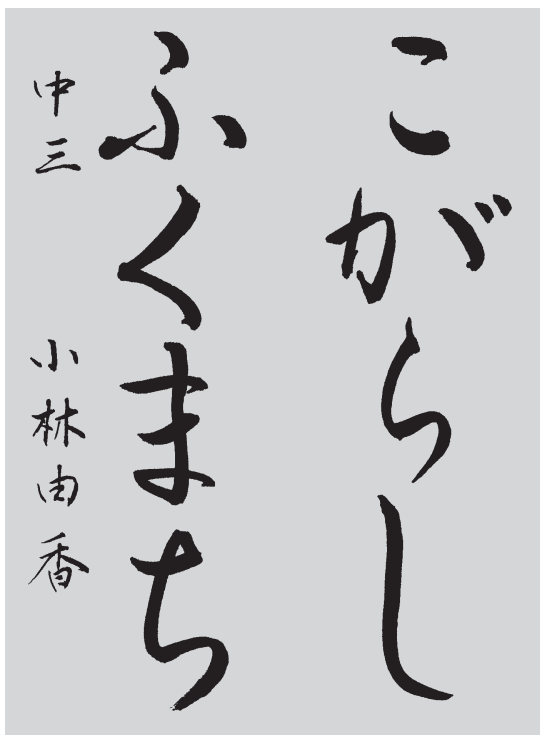
中学全学年参考手本（中学生は、どの課題を書いてもかまいません。）



恩地春洋先生



白石和楓先生



石井明子先生



小竹石雲先生

〔12月 6 日締切課題〕

幼・小 学 1 年

硬筆参考手本

解説 辻元大雲先生

〔12月6日締切課題〕 用紙は本連盟指定のものか、もしくは指定の用紙をコピーして使用してください。
 ※12月6日締切用の「段級が印字されたバーコード出品券」は、1月号の本と同送されますので、その券を貼って出品してください。（毛筆も同じ）

◎各学年に「学習のめあて」をつけました。

「なにをれんしゅうするか」をはっきりして一生けんめい書きましよう。

◎書写用具は、えんぴつ(HB又はBが望ましい)、フェルトペン、ボールペン、その他学年に応じたものを使用してよろしい。

◎学年は漢数字(一、二、三……)、級は算用数字(10、9、8……)、段は漢数字(二、三、四)と記入。

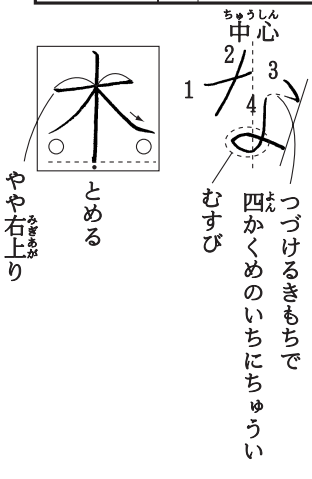
支 部 名	え て い ま す。 た て ば やし けい	大 き な 木 が は	
だん・きゅう			
がくねん			
一			
なまえ			
たてばやしけい			

◎作品に、学年と自分の「氏」「名」を本人が書く。

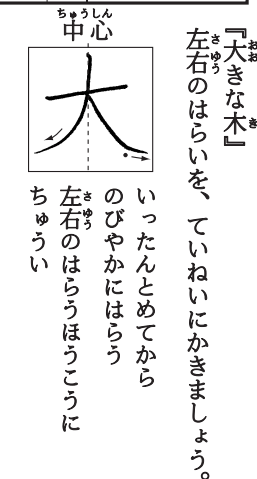
◎幼・小一の方は学年を書かなくてもよい。

◎支部・支局名は、本人が書けない場合は、ゴム印でもよい。

◎出品券は清書の右下にはってください。毛筆、硬筆の貼り間違いにご注意ください。



「大きな木」
 左右のはらいを、ていねいにかきましょう。
 いったんとめてからのびやかにほうちゅう
 左右のはらうほうこうにちゅうい



つづけるきもちで
 四かくめのいちにちゅうい
 むすび

〔12月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小 学 3 年

小 学 2 年

支 部 名				
	っ			
段・級	白	坂		
	い	道		
学 年	し	は		
名 前	も			
	だ	一		
	っ	面		
	た	の		
	。	ま		

支 部 名				
	の			
段・級	し	あ		
	い	と		
学 年	お	三		
名 前	正	日		
	月	ね		
	で	る		
	す	と		
	。	た		

中心
面

道

坂

「しも」
かん字の組み立てをよくつかいして、
字形を正しく書きましょう。

はらいの方向に注意

三画目の終筆の真下で止める

かるくとめる

分間(画と画の間)をこのえで
書きましょう

筆順

一ツ而面

中心
正

日

「お正月」
かん字の字形を正しく書きましょう。

「たて」がながい

さいこの画をながく書く

へつじゅん

一丁正

だいけい

はねる

分間(画と画の間)をこのえで
書きましょう

〔12月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

小学 5 年

小学 4 年

支 部 名	神	配	
	経	を	し
段・級	を	感	か
	集	じ	は
学 年	中	、	
	さ	大	何
名 前	せ	き	者
	た	な	か
	。	角	の
		に	気

支 部 名	る	ん	
	か	な	会
段・級	を	気	話
	考	持	文
学 年	え	ち	は
	て	で	
名 前	読	話	だ
	も	し	れ
	う	て	が
	。	い	ど

中心

集

分間を正しく整えて書きましょう
とめる 佳(ふるとり)
長く

経

はらいの方向に注意
とめ

感

咸 十 心
とめる (筆順)
ノ 厂 尸 咸 咸 感

『しかのさんぽ』
かん字の組み立てを理解して字形を整えましょう。

読

「へん」小、「つくり」大
士…下みじかい

考

三画目の横画を長く書く
一画で書く(ㄣ)

持

へ(てへん)の筆順
はね 1 2 3

『会話文』
「へん」と「つくり」の組み合わせを考えて書きましょう。

〔12月6日締切課題〕 作品に「学年」と自分の「氏」「名」を本人が書く。

中 学 生

小 学 6 年

支 部 名	木のくせを知り、 適材適所に使 ったときこそ千年の 風雪に耐える 建物をつくること ができる。
段・級	
学 年	
名 前	
和泉夏海	

支 部 名	「狂言」は、 室町時代 新鮮な民衆劇と して観 客に喜ばれました。
段・級	
学 年	
名 前	
大澤陽菜	

知 風 雪 材

『木のくせ』
 特に「建物」の字形を正しく整えましょう。
 〈簡単な行書〉

一、二画を続けて書く

三画目を左から右へ
 (許容字体)

「雨」(あめかんむり)の点の
 つつけ方いろいろよし
 「ヨ」の終画は、しっかり上
 部を受け止める

三、四画を続けて書く

衆

八画目のタテ画を中心として
 左右のはらいをつりあいよく書こう
 〈筆順に注意〉
 血 血 血 血 血 血 血 血

劇

そる

〈筆順〉
 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二

観

曲がり
 縦画を出す

※「狂」「鮮」は常用漢字です



3年	冬	トウ ふゆ	ノ	ク	又	冬	冬
4年	注	チュウ そそ・ぐ	シ	汙	汙	汙	注
	絵	カイ エ	く	么	糸	糸	絵 絵 絵
5年	流	リュウ ル なが・れる なが・す	シ	汙	汙	汙	流
	師	シ	丨	尸	自	師	師
6年	武	ブム	二	下	下	正	武 武
	道	ドウ トウ みち	ソ	一	首	道	道
	館	カン	人	食	館	館	館 館
中学	波	ハ なみ	シ	汙	汙	波	波
	想	ソウ ソ	木	相	想	想	
	詩	シ	言	詩	詩	詩	
	朗	ロウ ほが・らか	ナ	ヨ	良	朗	

行書を学ぼう (184)

(中学生の課題より、辻元大雲先生書)

行書と教科書体楷書の「ちがいを見つけましょう」

朗

朗

詩

詩

電

電

読

読

歌

歌

波

波

ひらがなの字源 (184)

※源字については、異字体から変遷したものに*印を付して()にその字体を記した。
 ※字形は古筆から抽出した。上段には源字に近い草仮名を配し、中・下段にはその変遷過程等を配した。

ち	ま	く	ふ	し	ら	が	こ	源字	字形
知	末	久	不	之	良	加	己		
ち	末	久	ふ	之	ら	か	こ		
ち	ま	く	ふ	し	ら	か	こ		

書写教育
 全国大学書写書道教育学会編より転載

漢字に親しもう

12月号5年生の毛筆課題「流行」から「流」の「宀」のつく漢字を家族で覚えましょう。

の か ぞ く	宀	宀	宀
	育	流	硫
	徹	徹	徹
	撤	撤	撤

肉のいみ

【育】 宀十月 ↓ 育

子どもが、母親からするりと生まれ、じょうぶにそだって肉がつき、太ること。↓そだつ。

- おん イク
- くん そだつ・そだてる
- いみ そだつ。▼育成・育見・育英・飼育・体育・発育・保育・教育・知育・生育・成育・愛育

【流】 シノ十六 川 ↓ 流

子どもが生まれるとき、母親の体から水が流れ出ることをあらわした字。水がいくすじにも分かれてながれること。↓ながれる。

- おん リユウ・ル
- くん ながれる。ながす
- いみ ①ながれる。②うつりゆく。③ひろまる。④学問や芸術などの系統。⑤位。▼流域・流行・流派・流水・流線型・支流・清流・潮流・逆流・上流・下流・流布・流転・流れ星



宀は、♀(子ども)のさかさまになった形。子どもが頭を下にして、するりと生まれたようす。

【硫】 石十 荒 ↓ 硫

火山から流れ出た溶岩が、かたまってできた鉱物のこと。↓いおう。

- おん リユウ
- くん ー
- いみ ①硫黄のこと。②硫酸のこと。▼硫黄・硫酸・硫安

【徹】 イ十 育 ↓ 徹

子どもが母親から、するりとぬけ出ること。つかえていたものがとれて、すっと通りぬけることをあらわす。↓とおる。

- おん テツ
- くん ー
- いみ とおる。▼徹底・徹夜・徹頭徹尾・一徹・貫徹

【撤】 才十 育 ↓ 撤

じゃまなものをどけて、もの通りをよくすること。↓どける。取りはらう。

- おん テツ
- くん ー
- いみ とりはらう。▼撤去・撤廃・撤回・撤退

編集余録

○ここ数日で日が暮れるのが急に早くなりました。いつの間にか、秋真っ盛りです。誌友の皆さんは風邪など引いていませんか？

○書の教室には、皆さんの学習の手助けに、『筆順を学ぼう』を掲載しています。「正しい筆順に従って、文字の形に注意して、丁寧に文字を書く。」とても大切な事です。筆順は習慣になります。正しい筆順を理解して普段から文字を書きましょう。また、毛筆以外でも、学校の漢字書き取りや、ノートをとる時にも気を付けて書きましょう。その習慣と積み重ねが大切です。

○丁度今、秋季昇級試験の審査の最中です。皆さんの力作を一枚一枚先生方が丁寧に審査してください。審査結果を楽しみに待っていてください。一つ気がついた事は、課題文字はしっかり書いていても、氏名が調和していない作品が時々見られます。自分の氏名を普段からしっかりと書く練習を重ねてください。頑張りますしよ。

(鄭街)